

週間市場レポート (2022年11月21日～11月25日)

1) 先週の市場動向

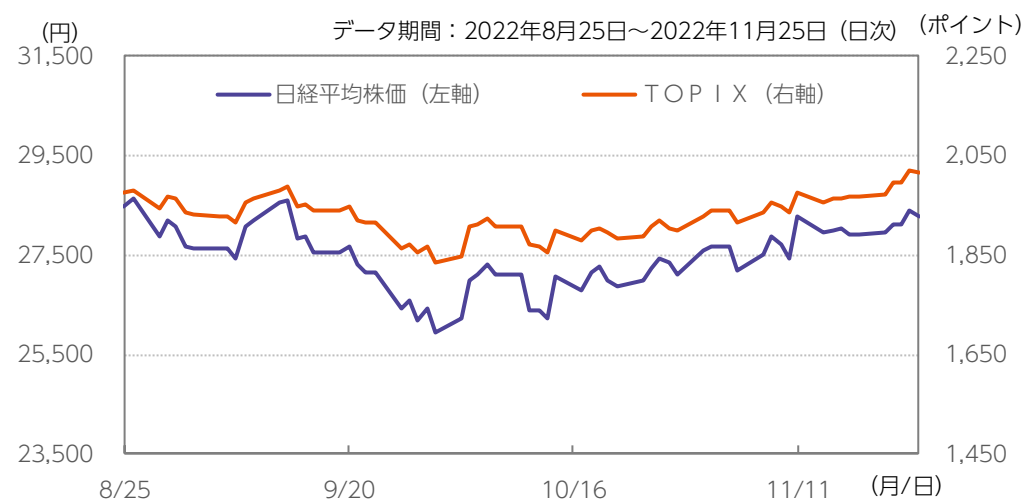
指数名	国	前週末 2022/11/18	先週末 2022/11/25	前週末比 (%)
日経平均株価 (円)		27,899.77	28,283.03	1.37 
TOPIX (東証株価指数)		1,967.03	2,018.00	2.59 
ダウ工業株30種平均 (ドル)		33,745.69	34,347.03	1.78 
S&P500種指数		3,965.34	4,026.12	1.53 
ナスダック総合指数		11,146.06	11,226.36	0.72 
ユーロ・ストックス50指数		3,924.84	3,962.41	0.96 
S&P/ASX300指数		7,123.16	7,225.76	1.44 
上海総合指数		3,097.24	3,101.69	0.14 
MSCI AC アジア (除く日本)*		784.68	778.81	▲ 0.75 
東証REIT指数		1,952.82	1,963.42	0.54 
FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数		732.37	745.47	1.79 
ASX300 REIT 指数		1,373.60	1,409.10	2.58 
グローバルREIT (除く日本)*		174.13	176.47	1.35 
日本10年国債 (%)		0.249	0.254	0.005 
米国10年国債 (%)		3.829	3.678	▲ 0.151 
ドイツ10年国債 (%)		2.014	1.974	▲ 0.040 
英国10年国債 (%)		3.239	3.122	▲ 0.117 
ドル/円		140.37	139.19	▲ 0.84 
ユーロ/円		144.92	144.58	▲ 0.23 
英ポンド/円		166.91	168.36	0.87 
豪ドル/円		93.67	93.93	0.28 
フィラデルフィア半導体指数		2,724.03	2,751.27	1.00 
WTI原油先物 (ドル)		80.08	76.28	▲ 4.75 
CRB指数		276.40	273.25	▲ 1.14 

2) 日本の株式・債券市場

≪ 株式 ≫

日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で上昇しました。

米国の利上げペースが減速するとの期待から週初より上昇しました。その後は、11月の米連邦公開市場委員会（FOMC）の議事要旨で、参加者の大多数が利上げ幅の縮小を見込んでいることが明らかとなり、早ければ12月の会合で利上げ幅を縮小するとの期待が高まり上昇基調を強めたものの、9月中旬以来の高値水準にあったことから利益確定売りに押され、週末は小幅に下落しました。

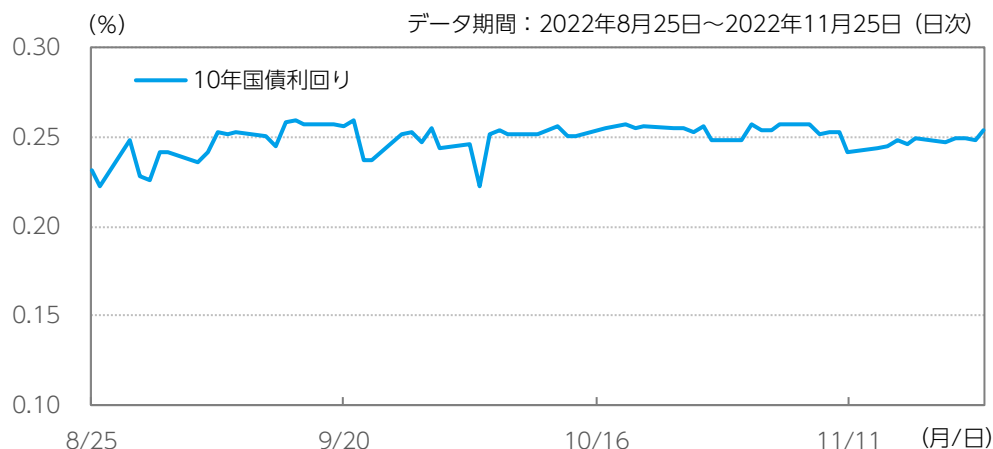


出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

※現地通貨ベース * ▲はマイナスを表します。

＜ 債券 ＞

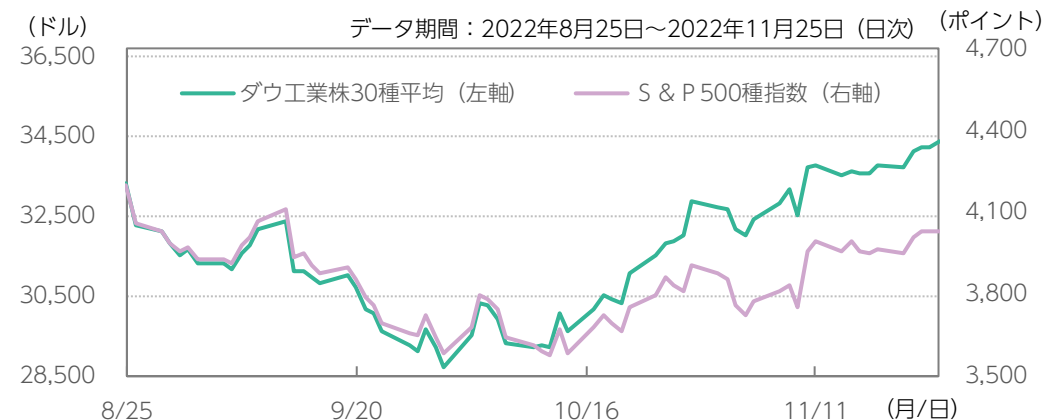
日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で横ばいとなりました。欧米の主要中央銀行が利上げペースを減速するとの見方から、欧米の長期金利が低下した流れを受け、国内金利も低下した一方、日米の株式相場が上昇基調であることから、相対的に安全資産とされる債券は売られる場面もあり（利回りは上昇）、週間では前週末比で横ばいとなりました。



3) 米国の株式市場

＜ 株式 ＞

米国株式市場（NYダウ）は、前週末比で上昇しました。中国で新型コロナウイルスの感染が再拡大しており、行動制限の再強化により世界景気が減速するとの懸念から週初は、下落しました。感謝祭休暇を控え薄商いとなるなか、11月のFOMC議事要旨で大多数の参加者が近く利上げ幅の縮小を見込んでいることが明らかとなり、利上げにともなう景気減速懸念が後退すると、景気敏感株を中心に幅広い銘柄が買われ上昇しました。

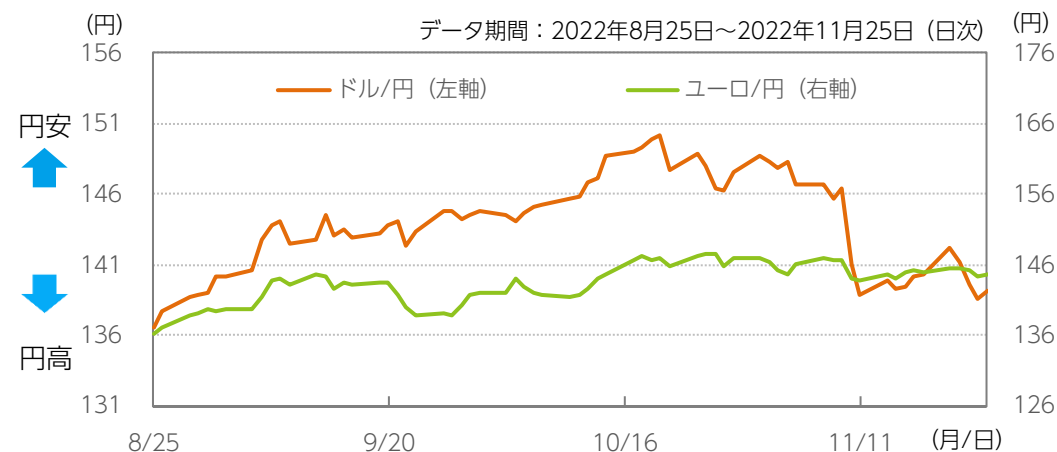


出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

4) 外国為替市場

米ドル/円相場は、前週末比で円高米ドル安となりました。

11月のFOMC議事要旨を受け、米連邦準備制度理事会（FRB）が12月以降に利上げ幅を縮小するとの見方が広がり、日米金利差縮小を意識した円買い米ドル売りが優勢となりました。



5) 今週の見通しについて

先週の株式市場は、11月のFOMC議事要旨を受け、FRBが利上げ幅を縮小するとの見方が改めて意識されると、日米両市場ともに上昇しました。

FRBは、11月1～2日に開催したFOMCの議事要旨を公開し、参加者の大多数が「利上げペースの減速が近いうちに適切になる可能性が高い」との考えを示したことが明らかとなりました。市場では、早ければ来月12月の会合で、利上げ幅が0.75%から0.5%に縮小されるとの見方が大勢を占めています。今後、FRBはこれまでの大幅利上げの効果を見極めながら、慎重に上げ幅の余地を探るものと思われます。

FRB高官の発言や11月のFOMC議事要旨を受け、FRBによる積極的な金融引き締め継続と、それにともなう景気後退懸念は一旦後退しつつあるようです。29日に発表される11月の消費者信頼感指数で、消費者の期待インフレ率が低下し、12月FOMCでの利上げ幅縮小をさらに後押しすることになれば、株式市場は大きく上昇する可能性もありそうです。

【当資料に関する留意点】

- ・ 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- ・ 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- ・ 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- ・ 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- ・ 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- ・ 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- ・ 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- ・ 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506

9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>